

『国立天文台所蔵貴重資料展示図録2000-2009』 正誤表 (2022年12月現在)

該当箇所	誤	正
p.7	「志州小平次外国江舟吹流ル由来記」	『志州船頭小平次外国江舟吹流ル由来記』
p.8	津田夫	津太夫
p.12	「志州小平次外国江舟吹流ル由来記」	『志州船頭小平次外国江舟吹流ル由来記』
	向井金左右衛門	向井金右衛門
p.14	和訳をおこなっている	訓点をほどこしている
p.16	太陽黒班	太陽黒斑
p.21	巻1から8まで	巻一から九まで
p.26	水星日面通過	水星日面経過
p.38	ゲレーンウイク天文台	ゲレーンウイク観象台
p.45	命を／宝暦の新暦調べなる／うけたまわり、ことしより後はしらべたる／法数を用いて頒ちおこなうものなり	宝暦の新暦しらべなる命をうけたまわり、ことしより後はしらべたる法数を用いて頒ち行ふものなり
p.46	円運動	周天円
p.49	円運動	周天円
p.58	安倍晴親 (あべはるちか)	安倍晴親 (あべはれちか)
p.70	「拝命の記」	『拝命之記』
p.74	游子六がイタリア人宣教師熊三抜 (Sabathin de Ursis) から教わった	イエズス会宣教師のもたらした
p.75	石甲	石申
p.80	本州では101年ぶりだったが、徳之島・沖永良部島などでは嘉永五年 (1852) に皆既食が起こっている	(削除)
p.83	尾の長さは3, 4尺	尾の長さは1丈3-4尺
p.92	「Astronomie」(1764年)	"Astronomie" 第2版 (1771)
p.100	弘化二年 (1845) から明治初年 (1868) のもの	幕末から明治初年にかけてのもの
p.102	江戸の暦屋の訴えによって正徳二年 (1712)	江戸の暦問屋の訴えによって正徳五年(1715)
p.106	上下編のままの円運動とした。	上下編の周天円を用いた。
p.107	天文書 (ラテン語版1766	天文書 (英語版1766
	英ジョン・ケイル (1671-1721) の著作 (ラテン語版1700	英ジョン・ケイル (1671-1721) の著作 (ラテン語版1725
P.108	ここへ至ってついに惑星運動の計算には楕円軌道が採り入れられた。	(削除)